

教科名【国語】 科目名【国語総合】 単位数【4】 対象学年【1年 普通科】
 使用教科書（出版社名）【新編 国語総合（東京書籍）】

- 目標 ①国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
 ②思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。
 ③言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
 ④国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

校種・教科名	国語	国語総合	単位数	4 単位
学校到達目標 1. 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 2. 思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨く。 3. 言語文化に対する関心を高め、現代の文章や古典を読み、読書に親しむ態度を育てる。				

学 習 の ね ら い	学期	時数	学 習 内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習計画について理解する。 ・随想の文章の流れをつかみ、筆者の思いや考えを理解する。 ・人前で話す力、他人の話をしっかり聞く力を身につける。 ・小説のおもしろさを味わわせ、想像力・感受性を豊かにする。 ・自分の考えを表現する力を養う ・古文に親しみ、その特徴になれる ・歴史的仮名遣いに慣れ、古文を音読できる力を養う。古典文法の基礎知識を身につける。 	1 学期	1	オリエンテーション
		3	〈随想〉 海流
		2	ルリボシカミキリの青
		3	〈言語活動〉 スピーチする
		6	〈小説〉 とんかつ
		6	〈言語活動〉 意見文を書き、発表する
		2	〈古文入門〉 古文に親しむ
3	児のそら寝		
3	用光と白波		
7	古典文法（用言）		
<ul style="list-style-type: none"> ・漢文を学習する上での基本的な事柄について、その原則を知る。 ・故事成語を通して、古代中国人の考え方を知るとともに、漢文に親しむ。 ・文章の論理的な構成を理解し、筆者の主張を正確に把握する。 ・詩に親しみ、詩を深く味わう力を養う。 ・小説の叙述に即して各場面における人物の心情を読み取り、その推移を追う分析的な読みを行う。 ・古文の読解方法を身につける。 ・幅広く情報にあたって調査し、得られた情報を整理しまとめる力を養う。 	2 学期	6	〈漢文入門〉 訓読の基本
		9	故事 三編 （守株・五十歩百歩・借虎威）
		5	〈評論〉 無彩の色
		4	未来をつくる想像力
		6	〈詩〉 空をかついで 二十億光年の孤独 冬が来た
		8	〈小説〉 羅生門
		5	ほおずきの花束
7	〈古文・随筆〉 徒然草		
3	枕草子		
6	〈言語活動〉 調査して発表する		
<ul style="list-style-type: none"> ・詩形・押韻・対句などの漢詩のきまりを理解する。 ・唐代の代表詩人の基礎知識を得中国の自然観・人生観について考える。 ・和歌の表現方法や、鑑賞方法を学ぶ。文体を味わい、凝縮された表現や発句を読解する。 ・古文を自分の力で口語訳する力を身につける。 ・文章構成や展開を確かめ、筆者の主張を読み取る。 ・ディベートの方法を身につける。 ・論理的思考を養い、説得力のある発言ができる能力を培う。 	3 学期	6	〈唐詩〉 唐詩 八首
		5	〈漢文・史話〉 魏武捉刀 王昭君
		6	〈古文・詩歌〉 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集
		6	〈古文・物語〉 伊勢物語
		5	平家物語
		5	〈評論〉 美しさの規準
6	〈言語活動〉 討論する		

評価の観点・方法

ア. 5回の定期考査 授業内に実施する常用漢字テスト 授業内に実施する小テスト（文法事項や授業内容の確認）
イ. 授業で指示した課題（意味調べや意見文、レポートなど）長期休業中の課題（感想文など）
ウ. 授業に対する取り組み（積極的に発表したり、わかりやすいノート作りなど）
内訳 定期考査が70～80% 課題や、常用漢字テストを含む小テスト、授業への取り組み20～30%

特色ある学習方法

本校独自の、校内文芸コンクール・読高メッセージ等の発表の場を活かして、表現活動への意欲を喚起する。

使用教材等

- 「新 国語総合改訂版」教育出版
- 「新総合 図説国語」東京書籍
- 「基礎からの古典文法」第一学習社
- 「常用漢字ダブルクリア」尚文出版

各学期の テスト 課題 提出物	1 学 期	テスト 中間考査 期末考査 小テスト 課題 平和に関する詩、作文、「読高メッセージ」の意見文 提出物 ノート、プリント等
	2 学 期	テスト 中間考査 期末考査 小テスト 課題 夏期休業中の読書感想文 体験作文 詩 俳句等 提出物 ノート プリント等
	3 学 期	テスト 期末考査 小テスト 課題 特になし 提出物 ノート、プリント等

留意事項

- *発表、提出物、テストなどを通して、生徒一人一人の理解度を十分に把握し、アドバイスや学習の補助が適切にできるようにします。
- *「国語総合」は高校における国語の学習の基礎になります。現代文・古文・漢文・表現各分野の基礎基本を国語総合で学習します。毎時間の学習内容を十分に理解しておかないと、2・3年になって困ります。予習・復習を欠かさないで下さい。副教材も適宜使用しますので用意してください。
- *国語力を身につけることは、他の教材の学習にも生きてきます。授業だけでなく、あらゆる機会に日本語に親しむことを心がけてください。特に読書は重要です。自ら進んで読書をする習慣を身につけてほしいです。